

目標

- 1. 数学、自然科学および情報技術の知識を身につけ、建設工学の実務問題に応用できる。
- 2. 建設工学の専門基礎科目について、基本的な理論を理解し演習課題を解ける。
- 3. 建造物設計・維持管理について、基本的な理論を理解し実務に応用できる。
- 4. 環境・都市・地域の保全管理について、基本的な理論を理解し実務に応用できる。
- 5. 建設の実務における計画・マネジメントについて、知識を習得している。
- 6. 自ら計画的・意欲的に学習することができる。

自然と技術(9,10)

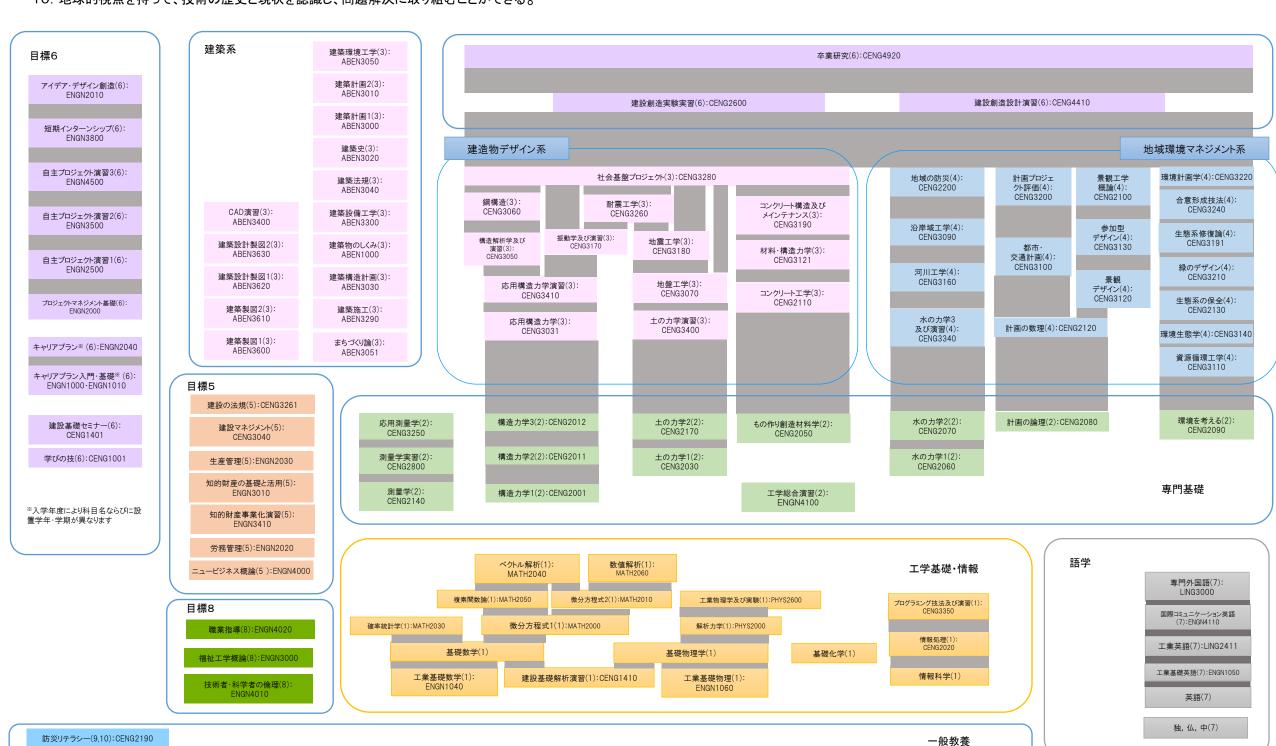
生活と社会(9,10)

歴史と文化(10)

人間と生命(9,10)

- 7. 技術的課題について口頭ならびに文書で効果的に説明・討議できる。
- 8. 建設工学について、問題の本質を理解し、問題解決に向けて創造的に計画、実施し、結果を評価することができる。
- 9. 技術者としての使命・責任感を持ち、倫理に沿った判断ができる。
- 10. 地球的視点を持って、技術の歴史と現状を認識し、問題解決に取り組むことができる。

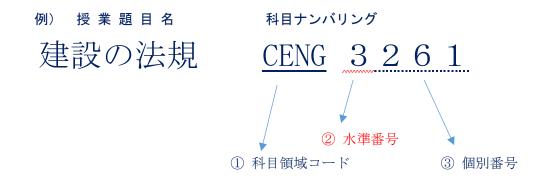
徳島大学工学部建設工学科 夜間主コース



ウェルネス総合演習:HSSC1010, 共創型, ヒューマン(9)

建設の歴史とくらし(10): CENG1010

授業科目名と併記されている科目ナンバリングシステムの基本ルール



科目コードの説明

① 科目領域コード	英語	日本語
ABEN	Architecture and Building Engineering	建築学
CENG	Civil Engineering	土木工学
ENGN	Engineering	工学
HSSC	Health/Sports Science	健康・スポーツ科学
LING	Linguistics	言語学
MATH	Mathematics	数学
PHYS	Physics	物理学

科目ナンバリングの概要

②水準番号	③ 個 別 番 号	
0 = 公開講座等、単位なしの科目	000~399: 講義科目	
1 = 教養入門科目	400~599: 演習科目	
2 = 専門基礎科目	600~799: 実験科目	
3 = 専門応用科目	800~899: 実習科目	
4 = 専門総括科目	900~999: 学位論文作成関連科目、	
	(特別講義等の新規開発科目)	
5 = 高度な学部専門科目、および		
医歯薬系 5-6 年次用専門科目、		
大学院入門用科目		
6 = 修士課程(博士課程前期)用科目		
7 = 博士課程(博士課程後期)用科目		